



美祢市の推進構想

1 地域連携教育の「成果」と「課題」

<成果>

- ・ 地域への関心や行事への参加については、多少の増減はあるものの高い数値を維持している。
- ・ 地域連携を含む教育活動において、児童生徒の自己肯定感の向上が図られた。
- ・ 児童生徒と教職員、地域が参加した中学校区全体の熟議を行うことができ、人との関わりの中で地域連携教育についての意識が高まった。協議会で話し合った事柄をそのままにせず、実践へとつなげることができた。
- ・ 生徒の提案であった地域の祭りを生徒主体で実施することができた。

<課題>

- ・ 地域行事への参加等についての肯定率がR 1年度（今の中3が小6）より低下している。
- ・ 研修や熟議、協議をする必要があるが、時間の確保が難しい。
- ・ 中学校区については実践が進んでいるので、各学校独自の地域連携をさらに推進する。
- ・ 地域の方の高齢化や子どもの減少に伴い、今後の活動がどこまで続けられるか、またどのように改善をしていくかが課題。
- ・ 児童生徒の思いや願いを踏まえた学校運営について、カリキュラムの見直しを含めた具体的方策を検討していく必要がある。

2 重点取組事項

- ・ 学校と地域が連携した教育活動の見直し（持続可能な取組）
- ・ 子どもの思いを大切にしたい探究活動（アウトプットを自己肯定感につなぐ）
- ・ 学校と公民館の連携の強化（地域協育ネットの機能性の向上）

3 重点取組事項の進捗を測る指標

<地域連携教育に関する児童生徒アンケートの質問項目において>

- ・ 「地域の様子や出来事に興味がありますか」【肯定率85%以上】
- ・ 「大人になったら今住んでいる地域のために何かをしたいと思いませんか」【肯定率85%以上】
- ・ 「自分にはよいところがあると思いませんか」【肯定率85%以上】

ゆめみねット協議会



夏休みアートプロジェクト

大嶺中校区にある7校が美祢線の復興を願ってパネルを作成。ふるさと美祢を愛する心を育んでいる。

市立綾木小学校



子ども食堂でみんな幸せ

夏休みプール開放日等に公民館や学校で実施。みんなの頑張りでおいしい昼食をいただいた。

市立伊佐中学校



いさゆめちゃんまつり

生徒会が企画・運営した夏まつり。伊佐公民館・伊佐地区子ども会の協力をいただいた。

市立厚保小・中学校



小中合同フィールドワーク

地域や公民館の協力のもと、小中学生が危険箇所を確認するフィールドワークを行った。